

# 第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年 2月

応募者名:長崎県 長崎振興局

事業の名称:三和都市計画道路栄上為石線  
整備事業

実施都市名:長崎県 長崎市

## 事業目的

栄上為石線は、長崎市街から野母崎地区へと至る国道499号から直角に分岐して長崎市三和地区(旧三和町)の中心部を縦断する、延長約1.5kmの都市計画道路です。

本路線は、現道幅員が3~9mと狭小で歩道未設置区間もあったことから、歩行者の安全性が十分に確保されていませんでした。栄上為石線整備事業により、安全で円滑な道路環境を整備したものです。

## 事業概要

事業名称:三和都市計画道路栄上為石線整備事業

路線名:栄上為石線

事業箇所:長崎県長崎市

事業延長:1.04km

幅員:16m(2車線)

事業費:約27億円

事業実施期間:平成13年~平成22年

本事業は、道路拡幅、歩道整備に取り組んだものですが、事業を行うにあたり有識者、関係団体及び地元住民などの意見を取り入れ、生活に密着した道路のデザイン検討を行いました。

デザインの基本的な考え方は、平成16年から30回ほど行ったワークショップや検討会の意見をふまえました。

歩道舗装は、2つのパターンの表面仕上げを行った舗装を用いることとし、コンクリートとインターロッキングブロックを用い、ピンコロ石で視覚障害者誘導ブロックの代用としました。

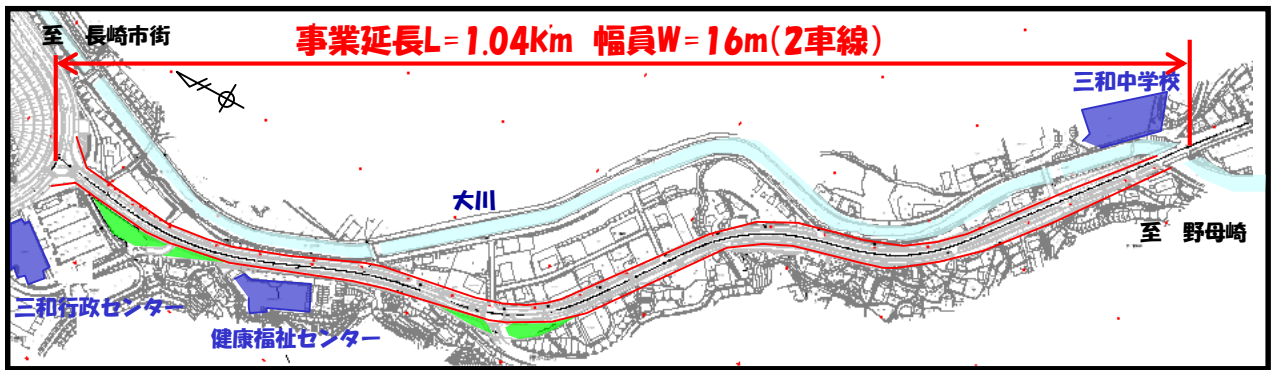
河川と並行する歩道部は、ウッドデッキを設置し、河川への眺望を楽しむことができる空間としました。

# 事業位置図



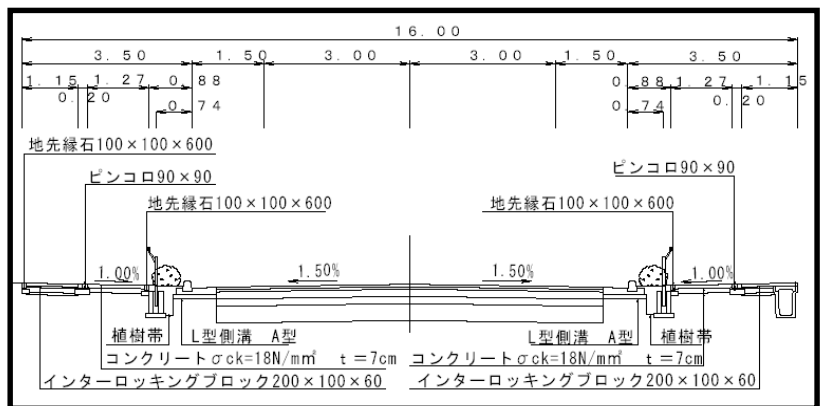
平面図

## 全体図(平面図・横断面図)

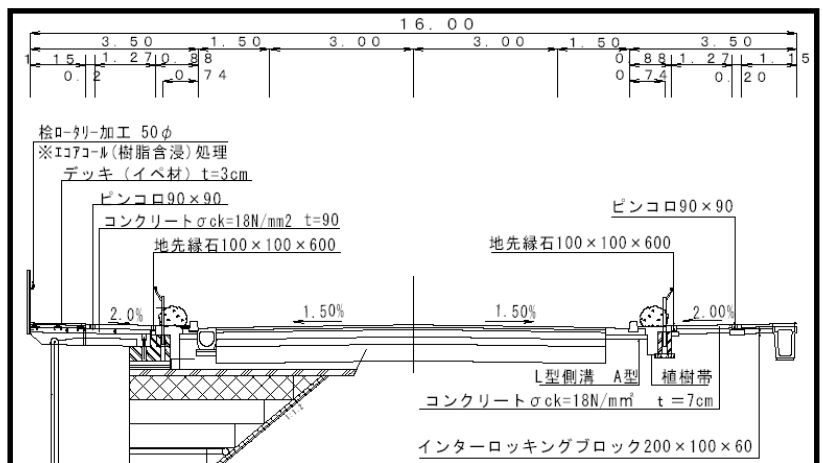


標準断面図

一般部



ウッドデッキ部



# 栄上為石線の整備効果アピール資料

**タイトル：地域に愛される街路ができました。**

**インターロッキング部**  
コンクリートとの輝度を変えることができ、弱視の方でも進行方向が認識できる。

**コンクリート部**  
凹凸がないため、車椅子利用者が快適に利用できる。また、雨天時に滑らないよう、表面を木小手仕上げとする。

**ピンコロ石**  
従来の視覚障害者用の誘導ブロックは使用せず、視覚障害者が進行方向を認識できるようにする。

**植樹帯**  
中木（モチノキ）と低木（ツツジ）を配置する。

**ウッドデッキ部**  
川と並行する部分に配置し、川への眺望を楽しめるようにする。また、川との境界には手すりのついた転落防止柵を設置する。

歩道舗装および張出し歩道上部のウッドデッキ状況

## 検討会での歩道部テスト施工

**（地元の方とデザインや質感を確認しました。）**

## 住民主催の開通イベント状況

**（H23.3.20）**



**イベント開会式**



**記念植樹**

### ○事業概要

事業名：三和都市計画道路栄上為石線  
整備事業

路線名：栄上為石線

事業箇所：長崎市布巻町～為石町

事業延長：1.04km

幅員：16m（2車線）

総事業費：約27億円

事業期間：H13～H22年度

### ○交通量調査結果

供用前 H17センサス（H17.10.18実測）

供用後 H22センサス（H22.10.19実測）

（\*H22センサス実施時点は部分供用時）

・交通量の推移

5,697台 → 8,752台（約3,000台の増）

### 「整備効果」

- ・交通混雑の解消、歩行者の安全確保に寄与することができた。
- ・周囲の自然景観と調和した道路空間となった。
- ・地元住民と一緒にデザインを検討していくことにより、街路事業に関心を持ってもらうことができた。また、地元から愛着をもってもらえる道路となった。

### 「その他の事業効果」

特になし。



# 事業前写真



①

平成18年1月撮影



②

平成18年1月撮影



# 事業後写真



①

平成24年1月撮影



②

平成24年1月撮影

